

## FMチューナー部

|                       |                                     |
|-----------------------|-------------------------------------|
| 受信周波数範囲 (周波数ステップ)     | 76.0 MHz~90.0 MHz (100 kHz)         |
| 実用感度 (S/N:30 dB)      | 9.3 dBf (0.8 $\mu$ V/75 $\Omega$ )  |
| S/N 50 dB感度           | 15.2 dBf (1.6 $\mu$ V/75 $\Omega$ ) |
| 周波数特性 ( $\pm$ 3.0 dB) | 30 Hz~15 kHz                        |
| S/N比 (dB)             | 73 dB (MONO)                        |
| 選択度                   | 80 dB 以上 ( $\pm$ 400 kHz)           |
| ステレオセパレーション           | 40 dB (1 kHz)                       |

## AMチューナー部

|                   |                          |
|-------------------|--------------------------|
| 受信周波数範囲 (周波数ステップ) | 522 kHz~1629 kHz (9 kHz) |
| 感度                | 28 dB $\mu$ /25 $\mu$ V  |

## カセットデッキ部

|                       |                           |
|-----------------------|---------------------------|
| テープスピード               | 4.76 cm/sec.              |
| フウ&フラッター              | 0.08 % (WRMS)             |
| 周波数特性 ( $\pm$ 3.0 dB) | 25 Hz~22 kHz (70 $\mu$ s) |
| ステレオセパレーション           | 40 dB (1 kHz)             |
| S/N比 (dB) (IHF-A)     | 57 dB                     |
| Dolby NR OFF          | 65 dB                     |
| Dolby B NR ON         |                           |

## オーディオ部

|           |   |
|-----------|---|
| 最大出力      | 35 W $\times$ 4                             |
| 定格出力      | 20 W $\times$ 4 (4 $\Omega$ , 1 kHz, 1%THD) |
| トーンコントロール | ±10 dB (100 Hz)                             |
| バス        | ±10 dB (10 kHz)                             |
| トレブル      |   |

## 電源部

|        |                  |
|--------|------------------|
| 電源電圧   | 14.4 V (11~16 V) |
| 最大消費電流 | 10 A             |

## 寸法・質量 (重さ)

|                                |                                 |
|--------------------------------|---------------------------------|
| 埋込寸法 (W $\times$ H $\times$ D) | 178 $\times$ 50 $\times$ 154 mm |
| 質量                             | 1.5 kg                          |

## 付属部品

|                                 |    |
|---------------------------------|----|
| 電源ハーネス                          | 1個 |
| 皿ネジ ( $\phi$ 5 $\times$ 8 mm)   | 4本 |
| トラスネジ ( $\phi$ 5 $\times$ 8 mm) | 4本 |
| バインドネジ (M4 $\times$ 6 mm)       | 1本 |

※これらの定格およびデザインは、技術開発にともない予告なく変更になる場合があります。

# KENWOOD

株式会社 ケンウッド

〒150 東京都渋谷区道玄坂1-14-6

- 商品、商品の取り扱いに関するお問い合わせは、お客様相談室をご利用ください。  
お客様相談室 (東京) 電話(03)3477-5335 〒153 東京都目黒区青葉台3-17-9 (ケンウッド青葉台第2ビル)  
(大阪) 電話(06)357-5335 〒534 大阪市都島区東野田町1-20-5 (大阪京橋第一生命ビル)  
(土、日、祝祭日および当社休日)は休ませていただきます。
- アフターサービスについては、お買い上げの販売店か、または、別紙「ケンウッド全国サービス網」をご参照のうえ、最寄りのサービスステーション、各営業所にご相談ください。

# KENWOOD

カセットレシーバー

## RX-340

### 取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございます。  
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、説明の通り正しくお使いください。  
また、この取扱説明書は大切に保管してください。  
本機は日本国内専用モデルですので、外国で使用することはできません。

株式会社 ケンウッド  
KENWOOD CORPORATION

# CONTENTS

## ●安全上の注意

|                     |    |
|---------------------|----|
| 安全上の注意事項            | 3  |
| 使用上の注意              | 8  |
| ●操作のしかた             |    |
| ALL MODE            | 10 |
| TUNER MODE          | 14 |
| TAPE MODE           | 16 |
| DISC CHANGER MODE   | 20 |
| REMOTE CONTROL MODE | 24 |
| 接続・取り付けのしかた         | 26 |
| 故障かな?と思ったら          | 28 |
| 保証とアフターサービス         | 31 |
| 定格                  | 32 |

### スイッチの押しかたについて

- ① .....スイッチを押し、すぐに指を離します。
- ① .....スイッチを1秒以上、または2秒以上押し続けます。

## 安全上の注意

製品を安全にご使用いただくため、「安全上のご注意」をご使用前によくお読みください。  
お読みになった後は必要などきにご覧になれるように大切に保管してください。

絵表示について      この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為に、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

|   |           |   |
|---|-----------|---|
|  | <b>警告</b> | この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。                |
|  | <b>注意</b> | この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。 |

絵表示の例

|   |   |
|---|---|
|   | △記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。近傍に具体的な注意内容が描かれています。        |
|  | ⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。 |
|  | ①記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。近傍に具体的な指示内容が描かれています。             |

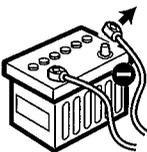
お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

## 警告

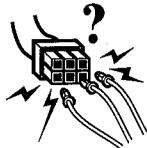
- ❗ カーオーディオ製品はDC12V⊖アース車専用です。大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車で使用しないでください。火災などの原因となります。



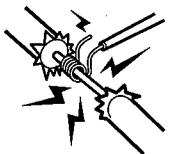
- ⚠ 配線作業中は、バッテリーの⊖端子を外してから行ってください。ショート事故による感電や怪我の原因となります。



- ❗ カーオーディオ製品の配線は必ず、取扱説明書に記載してある通りに行ってください。配線を間違えますと、火災、その他の事故の原因となります。



- ⊘ コードの被覆を切って、他の機器の電源を取るとは絶対にお止めください。リード線の電流容量をオーバーし、火災・感電の原因となります。



- ⊘ カーオーディオ製品を前方の視界を妨げる場所や、運転操作の妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けしないでください。交通事故や怪我の原因となります。



## 警告

- ❗ カーオーディオ製品取り付けの際には、必ず付属の取付用部品をご使用ください。取付用付属品をご使用にならないと、製品内部を壊し、ショート事故による火災が起るおそれがあります。また、取り付け不備により運転中に製品が外れて人に当たるなど、怪我の原因となります。

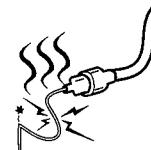


- ⊘ 車両の板金部の近くを通るコードには、保護用テープを巻いてください。コードが切れると、ショート事故により、火災となるおそれがあります。



- ⊘ アースコードを取り付ける場所は、ステアリング部やブレーキライン系統などの重要保安部品のボルトやナットに取り付けしないでください。事故などの原因となります。

- ⊘ 車両電源配線用コード以外で延長しないでください。コードの被覆が壊れやすく、ショート・発熱事故による火災が起るおそれがあります。また、電流容量オーバーにより、火災が起るおそれがあります。



- ❗ カーオーディオ製品の取り付け終了後に、車のブレーキランプ、ヘッドランプ、ウィンカー、ワイパーなどが正常に動作することを確認してください。正常に動作しない場合は、正常に動作するように取り付けをやり直してください。



- ❗ カーオーディオ製品、または車両のヒューズが切れたときは、コードがショートしていないことを確認後、必ずヒューズに表示されている容量(アンペア数)のヒューズと交換してください。規定容量以外のヒューズを使用しますと、火災の原因となります。

- ❗ 事故防止のため、電池やネジなどの小物類は幼児の手の届かないところに保管してください。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師と相談してください。

## 警告

❗ 運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度でご使用ください。



❗ 運転者が以下のような行為をするときは、必ず、安全な場所に車を停車させてから、行ってください。



・コントロール設定や調整、ネーム入力などのカーオーディオの操作



⊘ ディスプレイが表示されない、音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。そのまま使用すると、事故・火災・感電の原因となります。

⊘ 万一、<異物が入った・水がかかった・煙が出る・変な匂いがするなど>異常が起きましたら、直ちに使用を中止し、必ず<お買い上げの販売店>にご相談ください。そのまま使用すると、事故・火災・感電の原因となります。



⊘ カーオーディオ製品を分解したり、改造しないでください。事故・火災・感電の原因となります。

⚠ 修理は必ず<お買い上げの販売店>、ケンウッドサービスセンター、または営業所にご依頼ください。

## 注意

⊘ カセットテープ挿入口やディスク挿入口に指を入れないでください。怪我をすることがあります。



❗ カーオーディオ製品の取り付け・配線は専門技術と経験が必要です。安全のため<お買い上げの販売店>にご依頼ください。

⊘ ガラス部品を使用している製品を落としたり、強い衝撃を与えないでください。割れてけがをするおそれがあります。

⊘ 液晶を使用している製品が衝撃等により破損した場合、液晶液に触れないでください。生命に危険を及ぼすおそれがあります。液晶液が手足など身体や、衣服に付いた場合は、ただちに石鹸で洗い落としてください。

❗ カーオーディオ製品の通風口や放熱器をふさがないでください。通風口や放熱器をふさぐと内部が高温になり、火災の原因になることがあります。

⊘ カーオーディオ製品は、車載用として以外の用途では使用しないでください。

## ■ 本機に接続できるディスクチェンジャーについて ■

本機でコントロールできるディスクチェンジャーは1台のみです。別売のCD/MDチェンジャースイッチングユニット"KCA-S200"を使用してディスクチェンジャーを2台接続する場合は、KCA-S200付属のコントローラーでディスクチェンジャー1、2を切り替えてください。

KDC-C110, KDC-C106, KDC-C11, KDC-C10, KMD-C80は直接接続することができます。

KDC-C200, KDC-C300, KDC-C301, KDC-C50, KDC-C55のいずれかを接続するときは、別売品の"CA-DS100"が必要です。別途お買い求めください。

また、C705i, C705sr, MD6, MD66を接続するときは、別売品の"CA-KD20"が必要です。別途お買い求めください。

上記以外のケンウッド製ディスクチェンジャー、および他社製のディスクチェンジャーは、本機に接続することはできません。接続すると故障や破損の原因となります。

本機機能のディスクネームセットはKDC-C110、KDC-C106、KDC-C11、C705i、C705sr、MD6、MD66、KMD-C80接続時のみ使用できます。

また、ディスクチェンジャーによりネームセットできる枚数が異なります。詳しくは"P23"をご覧ください。

## ■ セットのお手入れについて ■

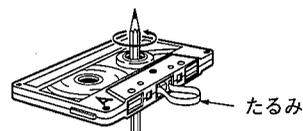
本機の前面パネルが汚れたときは、シリコンクロスか、やわらかい布でからぶきしてください。固い布や、シンナー、アルコールなど揮発性のものでふくと、傷がついたり、文字が消えることがあります。

## ■ セットの異常にお気づきのときは ■

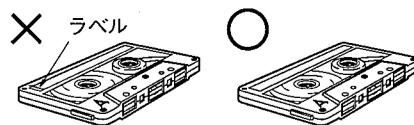
万一、セットの異常にお気づきのときは、まずリセットボタンを押してください。それでも正常に戻らないときは、そのままの状態で購入店、ケンウッドサービスセンター、または営業所へ連絡してください。

## ■ テープの取り扱いについて ■

テープにたるみがあるときは、図のように鉛筆などでたるみをなくしてから使用してください。



変形したカセットテープやラベルのはがれかかったカセットテープを使用すると故障の原因になります。ラベルのはがれかかっているときは、貼り直してから使用してください。

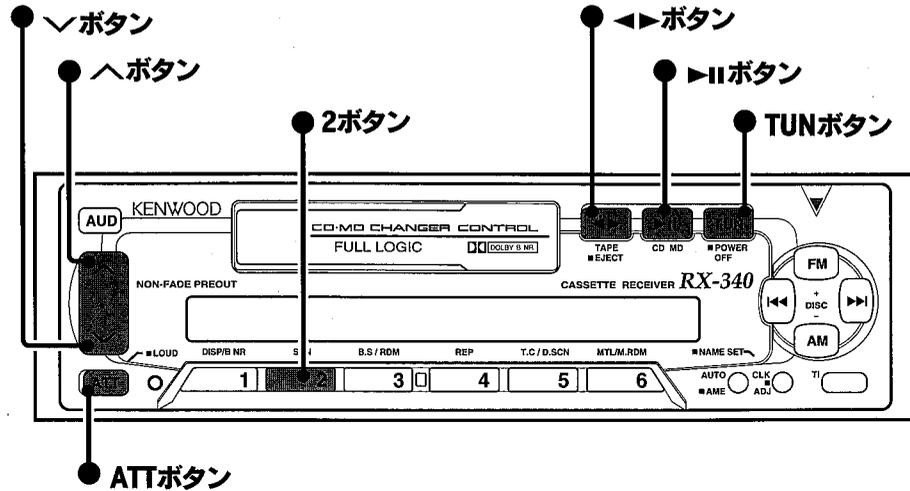


カセットテープをダッシュボードの上、リアトレイの上など高温になる場所や、ヒーターの熱風のかかる場所へは置かないでください。

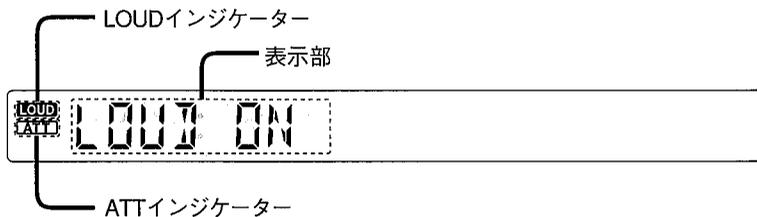
100分以上のカセットテープは大変薄く、テープがピンチローラーに巻き付いたり、切れるなどのトラブルが起こりやすいので使用しないでください。

## ■ ヘッドクリーニングについて ■

本機を長時間使うと、ヘッドの表面にテープの磁性粉やゴミが付着し、雑音が出たり音質が悪くなることがあります。このようなときは、クリーニングテープやヘッドクリーニングキットでヘッド部分を掃除してください。クリーニングテープ・ヘッドクリーニングキットはオーディオ専門店やレコード販売店で市販されています。中にはカーオーディオ用としては適さないものもありますので、確認のうえお買い求めください。



●ディスプレイ表示 .....



1 パワーON —電源を入れる—

- ラジオを聴くとき  
TUNボタンを押すとラジオがONします。
- カセットテープを聴くとき  
テープの見える面を右側にしてカセット挿入口にカセットテープを入れるとテープブレイが始まります。カセットテープが中に入っているときは<> ボタンを押すとテープブレイが始まります。
- ディスクチェンジャーを聴くとき  
ディスクチェンジャーが接続されているときに|| ボタンを押すとディスクプレイが始まります。

メモ

パワーOFFの状態から以下の操作を行ってもパワーがONします。  
 ●カセットテープが入っていないときに<> ボタンを押す。  
 ●ディスクチェンジャーが接続されていないときに|| ボタンを押す。

2 パワーOFF —電源を切る—

TUNボタンを1秒以上押すとイルミネーションが消えて電源がOFFになります。

3 ボリューム —音量調整—

^ ボタンを押すごとに音量が大きくなります。  
 v ボタンを押すごとに音量が小さくなります。

4 アッテネーター —音量をすばやく小さくする—

ATTボタンを押すごとにアッテネーターがON/OFFします。  
 ONにすると [ATT ON] と表示してATTインジケータが点滅、音量が瞬時に小さくなります。

5 ラウドネス —小音量時にメリハリのある音質にする—

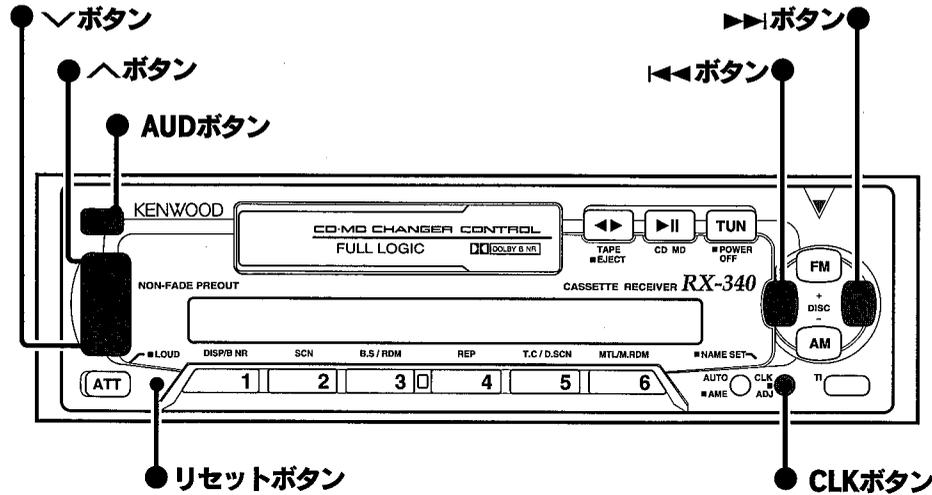
ATTボタンを1秒以上押すごとに [LOUD ON]、[LOUD OFF] と表示され、LOUDネスがON/OFFします。  
 ON中は、LOUDインジケータが点灯して高音と低音が強調された音になります。

6 プリアウト切り替え —プリアウトの出力方法を選ぶ—

1. パワーをONします。
2. TUNボタンを押して [ALL OFF] と表示させます。
3. 2ボタンを3秒以上押すごとに [REAR]、[NON-FADE] と表示され、プリアウトが切り替わります。

メモ

NON FADE (ノンフェーディング) とはFAD (フェーダー) で前後にバランス調整してもレベルが変化しない出力です。



●ディスプレイ表示.....



**7 オーディオコントロール** —音質、レベル調整—

1. **AUDボタン**を押すごとにBAS (低音) ⇒ TRE (高音) ⇒ BAL (左右のバランス) ⇒ FAD (フェダー; 前後のバランス) ⇒ NF (ノンフェーディング; プリアウトレベル) ⇒ 解除 (音量) の順に表示され、調整できるようになります。
2. 各調整モード中に **^ / V ボタン**を押すと各設定値が以下の範囲で変更できます。
 

|                     |                 |
|---------------------|-----------------|
| BAS (低音) / TRE (高音) | ..... -10 ~ +10 |
| BAL (バランス)          | ..... L15 ~ R15 |
| FAD (フェダー)          | ..... F15 ~ R15 |
| NF (ノンフェーダー)        | ..... 0 ~ 15    |

**メモ**

- プリアウト切り替えでNON FADEを選択していないときは、NF表示はされません。
- 低音、高音はテープ、チューナー (FM/AM)、ディスクチェンジャーモードごとに調整することができます。
- 5秒間にも操作しないと、オーディオコントロールは自動的に解除され音量調整になります。

**8 時計表示切り替え** —時計表示にする—

CLKボタンを押すごとに各モード表示 ↔ 時計表示に切り替わります。

**メモ**

パワーOFF、およびイグニッションキーをOFFにした場合は時計表示しません。

**9 時計調整** —時刻を合わせる—

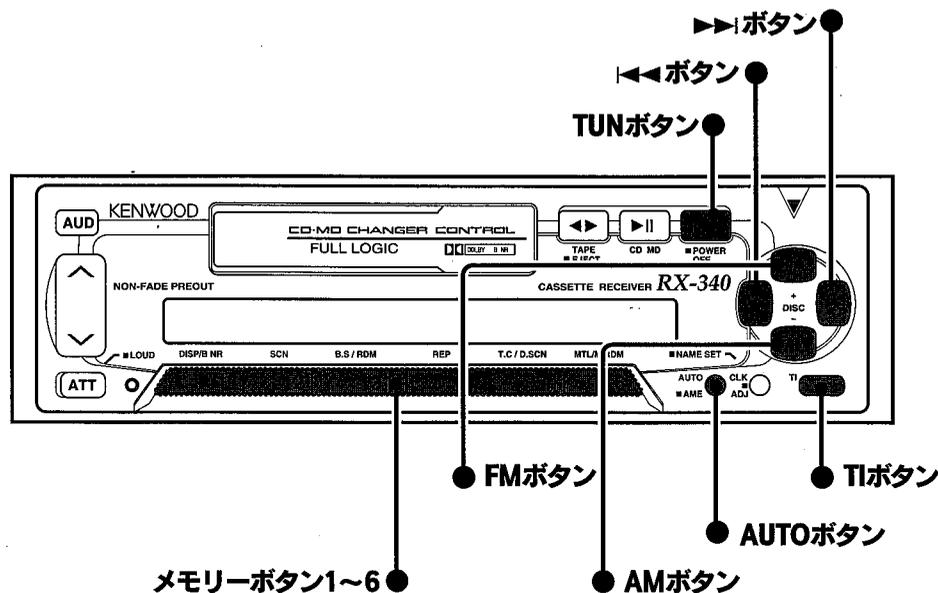
1. **CLKボタン**を押して時計表示にします。
2. **CLKボタン**を押しながら **◀◀ ボタン**を押すと“時”、**▶▶ ボタン**を押すと“分”が調整できます。

**メモ**

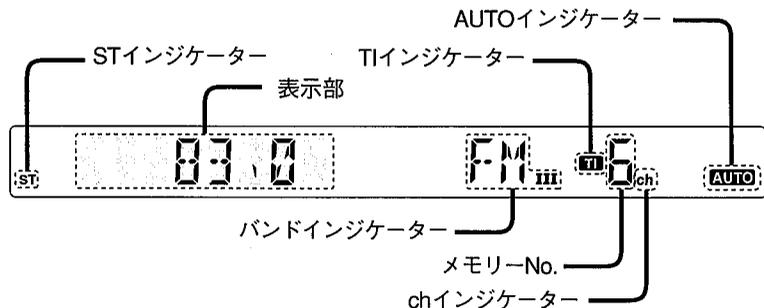
ディスクチェンジャーを聴いているときにCLKボタンを2秒以上押すと、ディスクネームプリセットモード (23ページ) になります。時間調整をするときは、**◀◀ / ▶▶** ボタンをすぐに押してください。

**10 リセット**

取り付けたときやバッテリー交換、本機が誤動作したときにペンの先などで**リセットボタン**を押すとすべての設定を初期状態にします。このときディスクネームセット以外でメモリーした内容はすべてクリアされます。



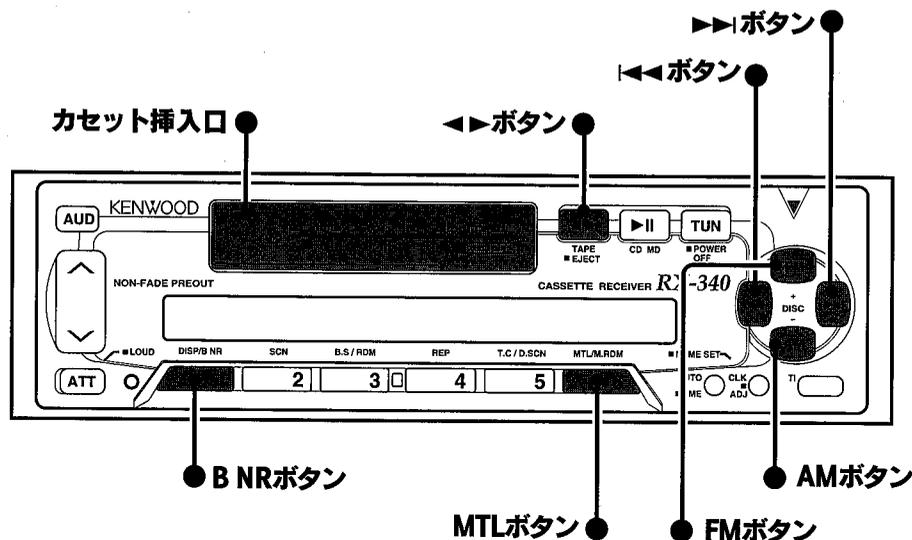
●ディスプレイ表示



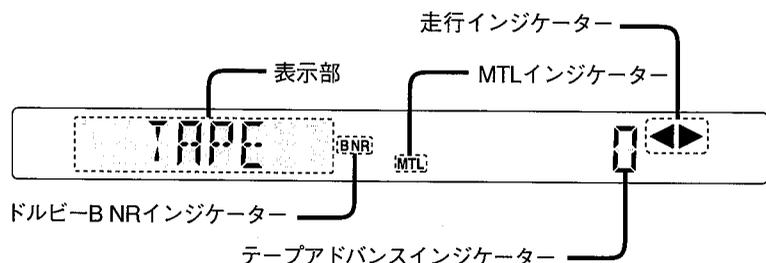
- 1 ラジオON/OFF** —ラジオを聴く—  
**TUNボタン**を押すごとにラジオがON/OFFします。OFF中は [ALL OFF] と表示され、イルミネーション点灯のまますべての機能を一時的に停止します。
- 2 バンド切り替え** —聴きたいバンドを選ぶ—  
**FMボタン**を押すごとにFM I、FM II、FM IIIバンドに切り替わります。  
**AMボタン**を押すとAMバンドに切り替わります。  
 選んだバンドがバンドインジケータに表示されます。
- 3 オート/マニュアルチューニング** —放送局を探す—  
**AUTOボタン**を押すごとに [AUTO]、[MANUAL] 表示され、オートチューニングとマニュアルチューニングが切り替わります。オートチューニング中はAUTOインジケータが点灯します。

  - オートチューニング (AUTOインジケータ点灯)  
 ▶▶ **ボタン**を押すと周波数の高い方へ、◀◀ **ボタン**を押すと周波数の低い方へ自動的に放送局を探して受信します。  
 FMステレオ放送を受信するとSTインジケータが点灯します。
  - マニュアルチューニング (AUTOインジケータ消灯)  
 ▶▶ **ボタン**を押すと周波数が高い方へ、◀◀ **ボタン**を押すと周波数が低い方へ1ステップずつ変わります。押し続けると連続して周波数が変わります。  
 FMステレオ放送を受信するとSTインジケータが点灯します。
- 4 チューナーメモリー** —放送局をメモリーする—  
 放送局を受信中に**メモリーボタン1~6**のいずれかを2秒以上押し、押ししたボタンに今聴いている放送局がメモリーされ、メモリーNo.が表示されます。各バンドにそれぞれ6局までチューナーメモリーできます。
- 5 オートメモリー** —自動的に放送局を探してメモリーする—  
**AUTOボタン**を2秒以上押しと [A-MEMORY] と表示され、オートメモリーが始まります。オートメモリー中はchインジケータが点滅して現在受信可能な放送局を各バンド最大6局まで、自動的にメモリーします。
- 6 メモリー呼び出し** —メモリーした放送局を呼び出す—  
**メモリーボタン1~6**のいずれかを押しとメモリーNo.が表示され、オートメモリー、チューナーメモリーでメモリーした放送局を受信します。
- 7 交通情報** —交通情報局を受信する—

  1. **TIボタン**を押すと [TRAFFIC] と表示され、TIインジケータが点灯して交通情報局を受信します。  
 交通情報はどのモードからも受信することができます。
  2. ◀◀/▶▶ **ボタン**を押すと受信周波数を1620KHz、1629KHz、522KHz、に変更することができます。
  3. 交通情報を解除するときは、**TIボタン**を押すか、他のモードに切り替えます。



●ディスプレイ表示.....



- 1 テーププレイ** —テープを演奏する—  
 テープの見える面を右側にしてカセット挿入口にカセットテープを入れるとテーププレイが始まります。カセットテープが中に入っているときは ◀▶ ボタンを押すとテーププレイが始まります。演奏状態を走行インジケータでお知らせします。テーププレイ中に ◀▶ ボタンを押すごとにフォワード/リバースプレイが切り替わります。

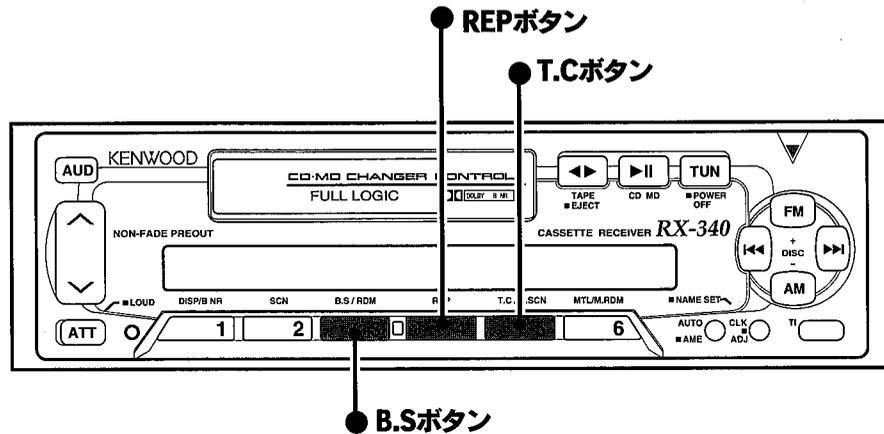
**メモ**  
 走行インジケータは、A面を上にしてテープを挿入すると、A面を演奏中は ▶ インジケータが点灯し、B面を演奏中は ◀ インジケータが点灯します。

- 2 イジェクト** —カセットテープを取り出す—  
 ◀▶ ボタンを1秒以上押し続けるとカセットテープが出てきます。
- 3 早送り/巻き戻し**  
 FMボタンを押すと早送りをします。  
 AMボタンを押すと巻き戻しをします。  
 途中で解除するときは ◀▶ ボタンを押します。
- 4 ドルビーB NR** —ドルビーB NRを使って録音されたテープを聴く—  
 B NRボタンを押すごとに [B-NR]、[NR OFF] と表示され、ドルビーB NRシステムがON/OFFします。ON中はB NRインジケータが点灯します。ドルビーB NRシステムで録音したテープを再生するときはONにします。

ドルビーノイズリダクションはドルビーラボラトリーズライセンスングコーポレーションからの実施権に基づき製造されています。  
 ドルビー、DOLBY及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズライセンスングコーポレーションの登録商標です。

- 5 テープセレクト** —メタル/クロムテープを聴く—  
 MTLボタンを押すごとに [MTL ON]、[MTL OFF] と表示され、テープタイプがメタル (TYPE IV) / クロム (TYPE II) ポジションとノーマル (TYPE I) ポジションに切り替わります。ON中はMTLインジケータが点灯します。メタル/クロムポジションのテープを使用しているときはONにします。

- 6 テープアドバンス** —一曲の頭だしをする—
  - 先の曲の頭出しをする**  
 ▶▶ ボタンを押すとテープアドバンスインジケータが [1] の表示になり、次の曲の先頭まで早送りし、自動的に演奏が始まります。途中で解除するときは ◀▶ ボタンを押します。
  - 現在の曲の頭出しをする**  
 ◀▶ ボタンを押すとテープアドバンスインジケータが [0] の表示になり、現在の曲の先頭まで巻き戻り、自動的に演奏が始まります。途中で解除するときは ▶▶ ボタンを押します。



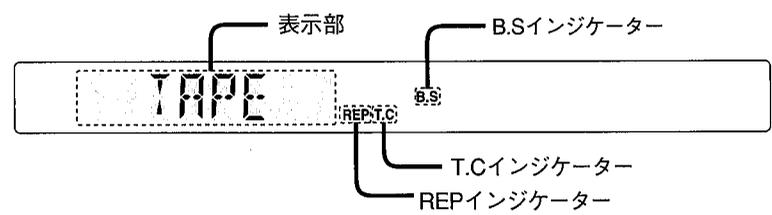
- 7 リピートプレイ** —同じ曲を繰り返し聴く—  
**REPボタン**を押すごとにリピートプレイがON/OFFします。ONにすると [REPEAT] と表示され、REPインジケータが点灯して聴いている曲を繰り返し演奏します。
- 8 ブランクスキップ** —無録音部分をスキップする—  
**B.Sボタン**を押すごとに [BS ON]、[BS OFF] と表示され、ブランクスキップがON/OFFします。ONにするとB.Sインジケータが点灯して10秒以上無録音部分があると自動的に次の曲まで早送りされます。
- 9 チューナーコール** —早送り・巻き戻し中にラジオを聴く—  
**T.Cボタン**を押すごとに [TC ON]、[TC OFF] と表示され、チューナーコールがON/OFFします。ONにするとT.Cインジケータが点灯してテープの早送り・巻き戻し中にラジオを受信します。

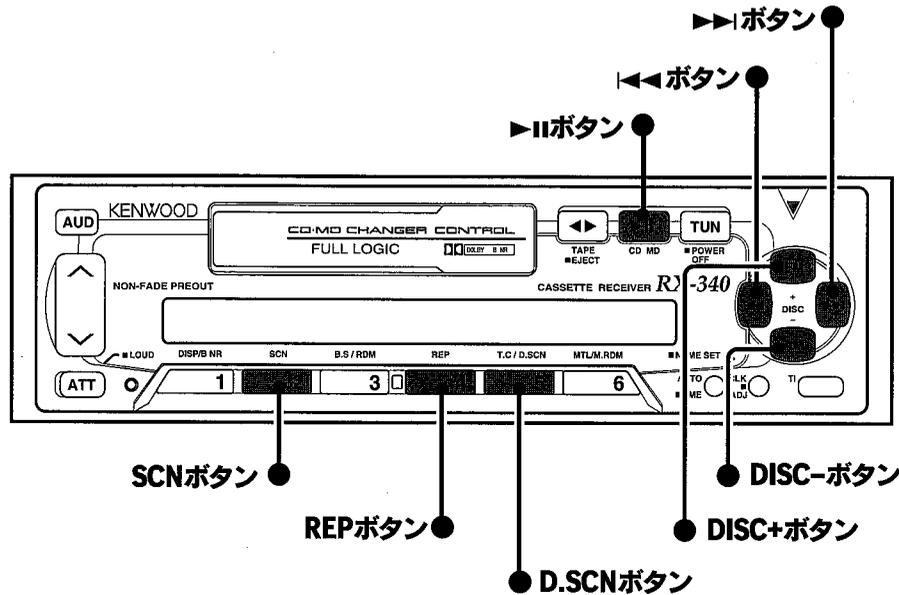
♪PSS 中も OK

**メモ**

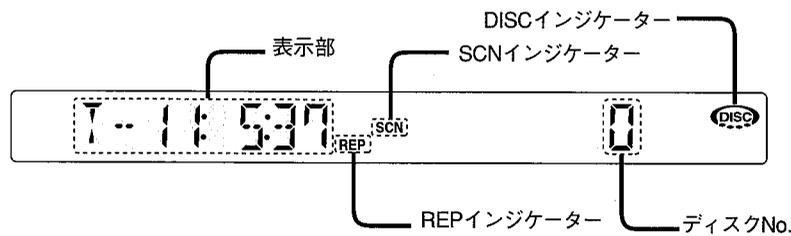
- テープアドバンス、リピートは曲間の何も録音されていない無録音部分を検出して行ないません。そのため曲間の無録音部分が4秒未満のテープでは曲間を検出できなかったり曲の途中で「先頭」と判断することがあります。
- ブランクスキップは無録音部分の雑音が非常に大きいと早送りされないことがあります。また、クラシック音楽など録音レベルが非常に小さい部分が曲の途中で10秒以上続くと、ブランクスキップすることがあります。この場合はブランクスキップをOFFにしてください。
- オートアンテナ仕様車ではチューナーコールがONのときアンテナが伸びた状態になります。車庫入れなどでアンテナを縮めたいときはチューナーコールをOFFにしてください。

●ディスプレイ表示 .....





●ディスプレイ表示.....



**1 ディスクプレイ/ポーズ** —ディスクチェンジャーを聴く—  
 ディスクチェンジャーが接続されているときに▶▶ボタンを押すと、DISCインジケータが点灯してディスクプレイが始まります。ディスクプレイ中に▶▶ボタンを押すと演奏時間表示が点滅して一時停止します。

**2 トラックサーチ** —聴きたい曲を選ぶ—  
 ▶▶ボタンを押すごとに先の曲へトラックサーチします。  
 ▶▶ボタンを押し続けると聴いている曲を早送りします。  
 ◀◀ボタンを押すと現在聴いている曲の先頭へ、押すごとに手前の曲へトラックサーチします。◀◀ボタンを押し続けると聴いている曲を早戻しします。

**メモ**  
 MDチェンジャーを聴いているときにトラックの先頭まで早戻しすると、自動的に解除されてディスク演奏が始まります。

**3 ディスクサーチ** —聴きたいディスクを選ぶ—  
 DISC+ボタンを押すごとに先のディスクへサーチします。  
 DISC-ボタンを押すごとに手前のディスクへサーチします。

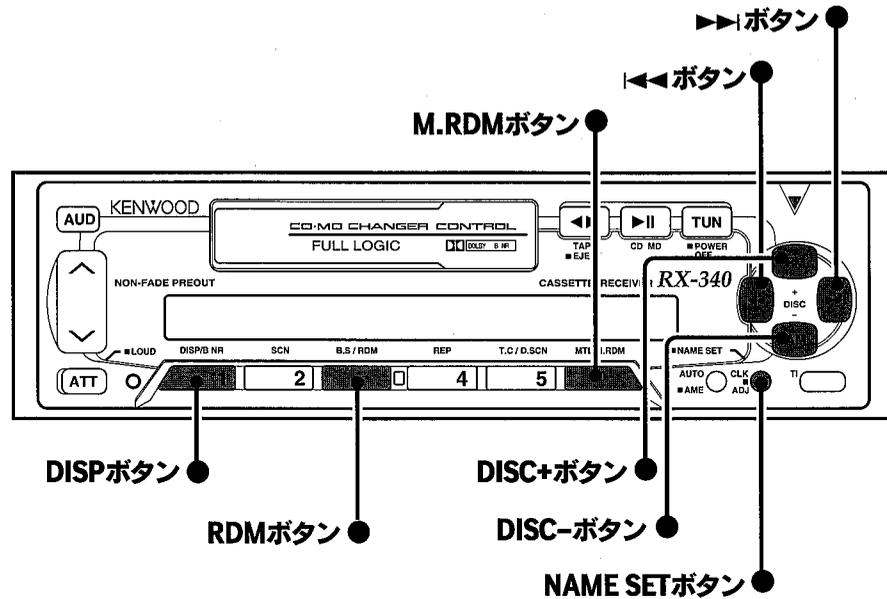
**4 リピートプレイ** —同じ曲/ディスクを繰り返し聴く—  
 REPボタンを押すごとにトラックリピート⇒ディスクリピート⇒解除の順に切り替わります。

●トラックリピート  
 聴きたい曲を演奏中にREPボタンを1回押すと [T-REPEAT] と表示され、REPインジケータが点灯してトラックNo.表示が点滅します。聴いている曲を繰り返し演奏します。

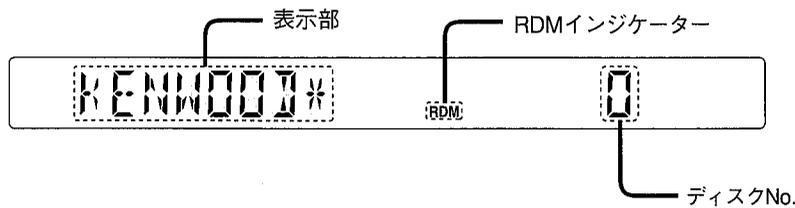
●ディスクリピート  
 聴きたいディスクを演奏中にREPボタンを2回押すと [D-REPEAT] と表示され、REPインジケータが点灯してディスクNo.表示が点滅します。聴いているディスクを繰り返し演奏します。

**5 トラックスキャンプレイ** —聴きたい曲を探す—  
 SCNボタンを押すごとにトラックスキャンプレイがON/OFFします。ONにすると [T-SCAN] と表示され、SCNインジケータが点灯してトラックNo.表示が点滅します。聴いているディスクの各曲の先頭部分を約10秒間ずつ演奏します。

**6 ディスクスキャンプレイ** —聴きたいディスクを探す—  
 D.SCNボタンを押すごとにディスクスキャンプレイがON/OFFします。ONにすると [D-SCAN] と表示され、SCNインジケータが点灯してディスクNo.表示が点滅します。マガジン内のディスクの先頭部分を約10秒間ずつ演奏します。全ディスクをスキャンすると自動的にディスクスキャンプレイがOFFします。



●ディスプレイ表示 .....



**7** **トラックランダムプレイ** —聴いているディスクから自動的に曲を選ばせて演奏する—  
**RDMボタン**を押すごとにトラックランダムプレイがON/OFFします。ONにすると[RANDOM]と表示され、ランダムプレイ中はRDMインジケーターが点灯して自動的に曲を選んで演奏します。▶▶**ボタン**を押すと次の曲を自動的に選んで演奏します。演奏中はトラックNo.表示が点滅します。

**8** **マガジンランダムプレイ** —マガジンから自動的に曲を選ばせて演奏する—  
**M.RDMボタン**を押すごとにマガジンランダムプレイがON/OFFします。ONにすると[M-RANDOM]と表示され、マガジンランダムプレイ中はRDMインジケーターが点灯して自動的に曲を選んで演奏します。▶▶**ボタン**を押すと次の曲を自動的に選んで演奏します。演奏中はディスクNo.表示とトラックNo.表示が点滅します。

**9** **ディスク名前プリセット** —ディスクに名前を付ける—  
 1. 名前を付けたいディスクを演奏中に**NAME SETボタン**を2秒以上押すと、名前プリセットモードになります。  
 2. ◀◀/▶▶**ボタン**で入力したい文字位置を選びます。  
 3. **DISC+/DISC-**ボタンで文字種を選びます。入力できる文字種はA～Z、0～9、/、+、-、\*、=、<、>、[、]です。また、英字、数字、記号間の“ ”でスペースが入力できます。入力できる文字数は8文字までです。  
 4. **NAME SETボタン**を押すと名前プリセットモードが終了します。また、10秒間操作を行わないと自動的に終了し、入力したところまでのディスク名前がセットされます。

**メモ**  
 録音用MDにディスクタイトル/トラックタイトルを記録する機能ではありません。

**注意**  
 ディスク名前プリセットできるディスクチェンジャーはKDC-C110、KDC-C106、KDC-C11、C705i、C705sr、MD6、MD66、KMD-C80のみです。また、ディスクチェンジャーによりディスク名前セットできる枚数が異なります。

| ディスクチェンジャー名              | 名前セット可能枚数 |
|--------------------------|-----------|
| KDC-C11、KMD-C80、MD6、MD66 | 30枚       |
| KDC-C110、KDC-C106        | 50枚       |
| C705i、C705sr             | 100枚      |

名前セットしたディスクの識別は総録音時間とトラック数で判断しています。録音時間もトラック数も同じディスクがあった場合は識別ができなくなります。なお、RX-340のリセットを行っても名前セットは保持されます。

**10** **表示モード切り替え** —演奏時間とディスク名前を切り替える—  
 ●CDチェンジャーの場合  
**DISPボタン**を押すごとにトラック演奏時間(P-TIME)⇒トータル演奏時間(A-TIME)⇒ディスク名前プリセット表示の順に切り替わります。  
 ●MDチェンジャーの場合  
**DISPボタン**を押すごとにトラック演奏時間(P-TIME)⇒ディスク名前プリセット⇒ディスクタイトル⇒トラックタイトル表示の順に切り替わります。  
 ディスク名前プリセットしていないディスクはNO NAMEと表示されます。また、MDにディスクタイトル、トラックタイトルが記録されていない場合もNO NAMEと表示されます。

# REMOTE CONTROL MODE

24

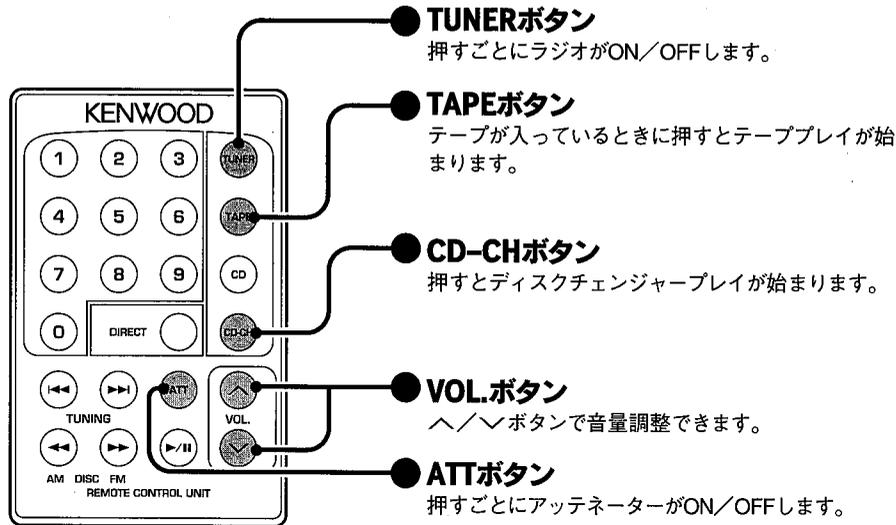
REMOTE CONTROL MODE

(別売のリモコン "KCA-R4" を使用するとリモコンから本機を操作することができます。)

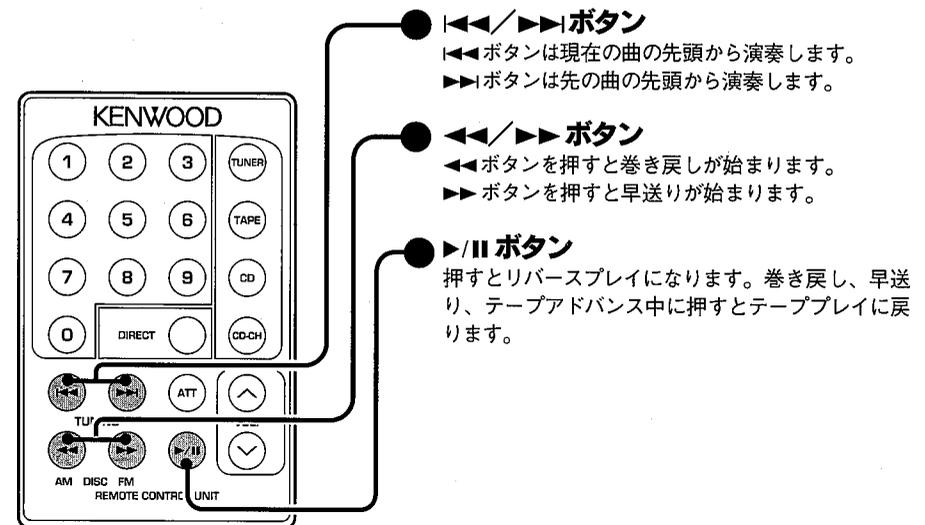
25

REMOTE CONTROL MODE

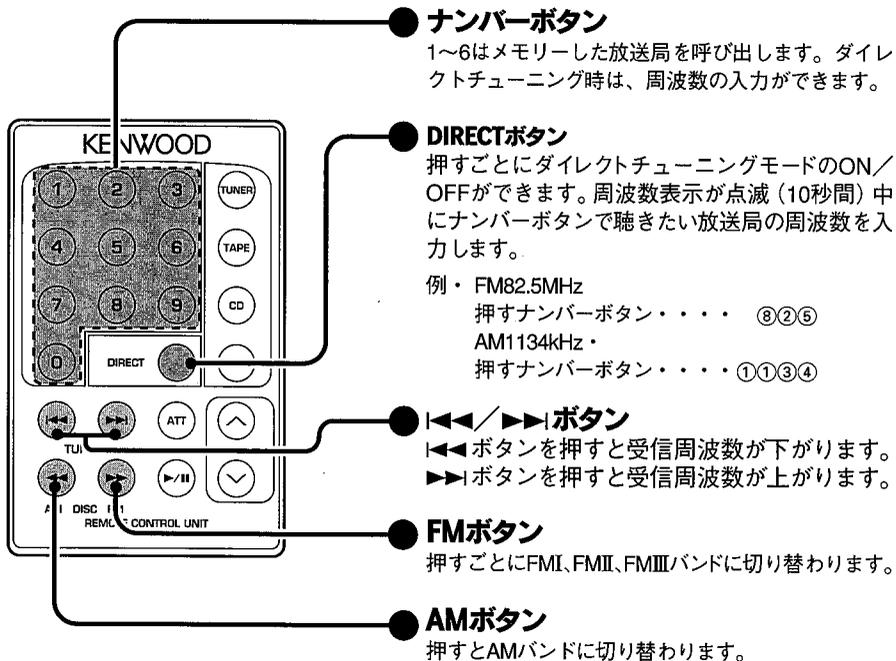
## ALL MODE



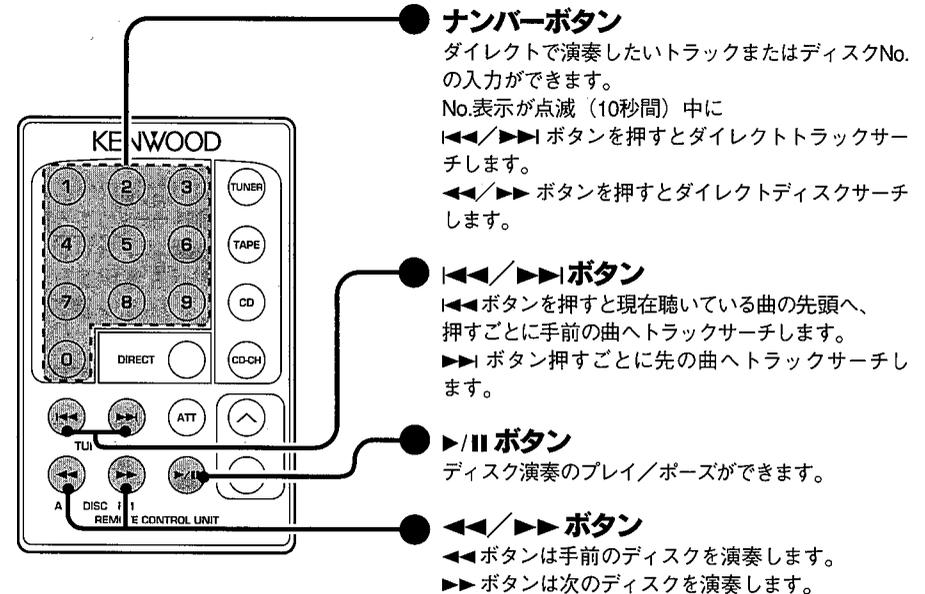
## TAPE MODE



## TUNER MODE



## DISC CHANGER MODE

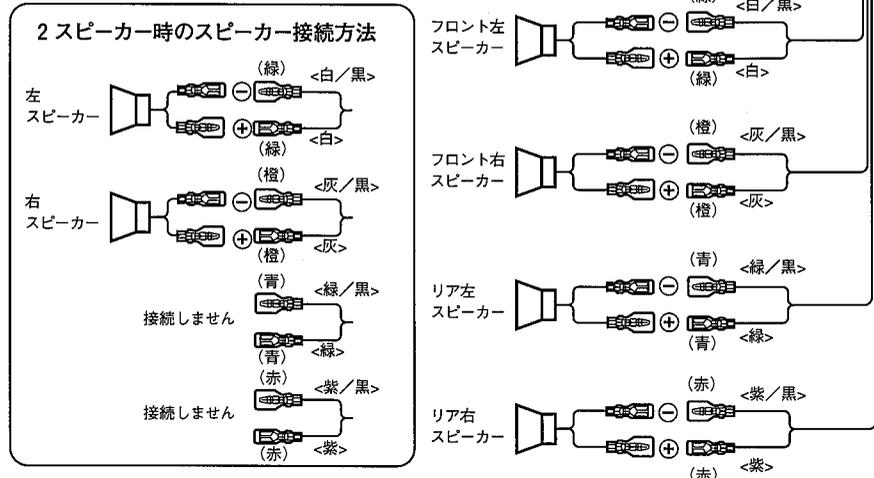
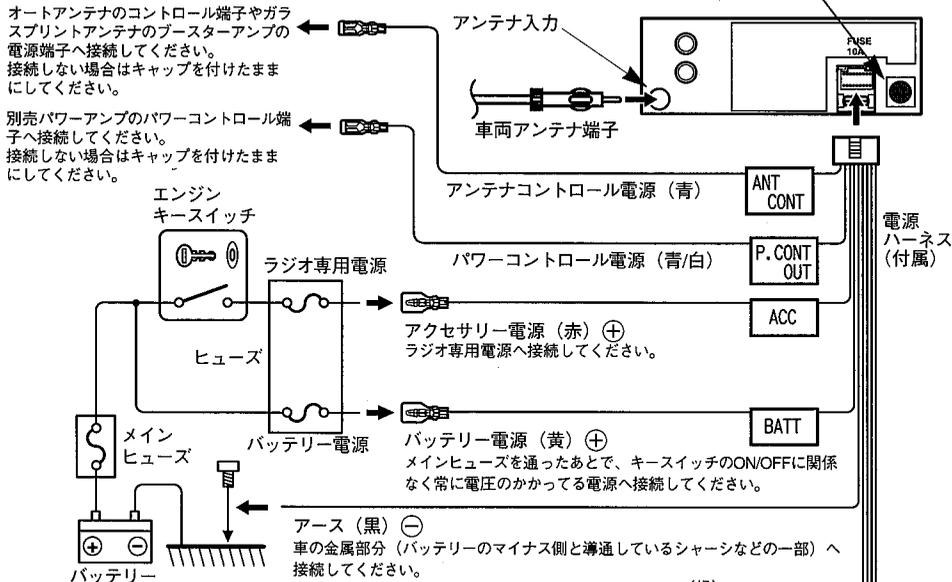


# 接続・取り付けのしかた

接続・取り付けのしかた

初めにエンジンキーが抜かれていることを確認後、ショート事故防止のため必ずバッテリーの⊖端子を外してください。

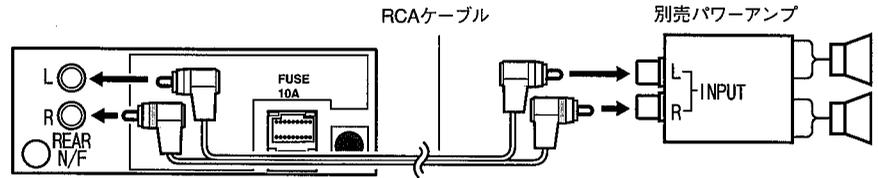
1. 各セットの入・出力コードを確かめて接続します。
2. 電源ハーネスのスピーカーコードを接続します。
3. 電源ハーネスをアースコード（黒）、バッテリー電源コード（黄）、アクセサリ電源コード（赤）の順に接続します。
4. 電源ハーネスのコネクターをRX-340に接続します。
5. 取付終了後に、バッテリーの⊖端子を接続します。



接続・取り付けのしかた

## ●プリアウト端子の接続

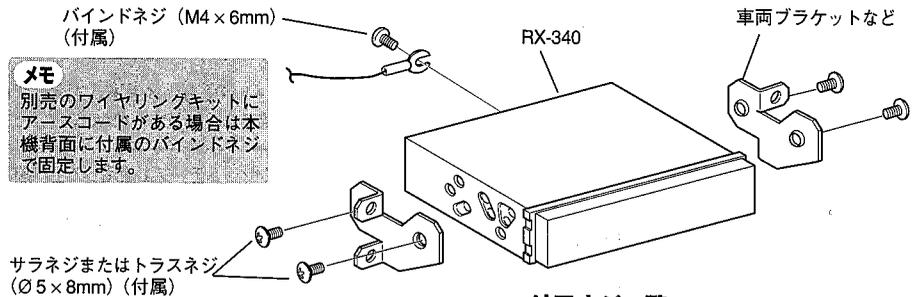
別売のRCAケーブルを使用して、パワーアンプに接続します。



## ●本機の取り付け

付属のネジ (φ5×8mm) 4本を使用して車両ブラケットなどに取り付けます。

**注意** 本機を取り付けの際は必ず本機に付属しているネジを使用してください。異なるネジを使用しますと、本機のネジ穴を破損することがあります。なお、車両ブラケット用ネジはサラ型、トラス型の2種類付属しています。車両に合ったネジをご使用ください。

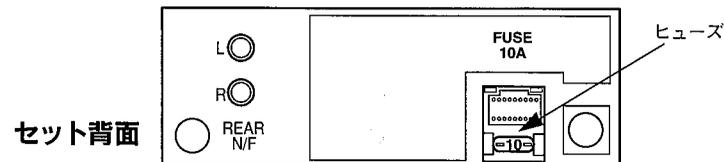


### 付属ネジ一覧

|  |                    |   |
|--|--------------------|---|
|  | サラネジ (φ5×8mm) ……   | 4 |
|  | トラスネジ (φ5×8mm) ……  | 4 |
|  | バインドネジ (M4×6mm) …… | 1 |

## ●ヒューズ交換のしかた

ヒューズが切れた場合はコードがショートしていないことを確認後、セット背面表示してある容量と同じヒューズと交換してください。



# 故障かな?と思ったら

ちょっとした操作ミスや配線違いなどにより、故障と思われることがあります。修理を依頼される前に、下記の各項目についてチェックしてください。

| こんなとき             | どうして   | こうします   |
|-------------------|--|---|
| 音が出ない/小さい         | <ul style="list-style-type: none"> <li>音量が最小になっている。</li> <li>アッテネーターがONになっている。</li> <li>ヒューズが切れている。</li> <li>フェダー、バランスが片側に片寄った設定になっている。</li> <li>入・出力/電源コードが間違っで接続されている。</li> <li>カセットテープの不良。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>音量を適度に上げてください。</li> <li>アッテネーターを解除してください。</li> <li>コード類がショートしていないことを確認後、所定容量のヒューズと交換してください。</li> <li>フェダー、バランスを調整してください。</li> <li>"接続・取り付けのしかた(⇒P26)"を見て正しく接続してください。</li> <li>他のカセットテープを使用してください。</li> </ul> |
| 音質が悪い(音が歪む)       | <ul style="list-style-type: none"> <li>音量が大きすぎる。</li> <li>ヘッドが汚れている。</li> <li>スピーカーコードが車両側のネジにかみ込んでいる。</li> <li>スピーカー配線が間違っている。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>適正音量で使用してください。</li> <li>"ヘッドクリーニングについて(⇒P9)"を見てヘッドクリーニングを行ってください。</li> <li>スピーカー配線をチェックしてください。</li> <li>スピーカー出力端子をそれぞれのスピーカー端子に接続してください。</li> </ul>  |
| テープが入らない          | <ul style="list-style-type: none"> <li>カセットハーフが変形している。</li> <li>テープが逆向きになっている。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>他のカセットテープを使用してください。</li> <li>テープが見える面を右にして入れてください。</li> </ul>  |
| チューナーの感度が悪い       | <ul style="list-style-type: none"> <li>自動車のアンテナが伸びていない。</li> <li>アンテナコントロール電源が接続されていない。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>アンテナを十分伸ばしてください。</li> <li>"接続・取り付けのしかた(⇒P26)"をみてアンテナコントロール電源を接続してください。</li> </ul>  |
| カセットモード中にアンテナが伸びる | チューナーコールがONになっている。   | "チューナーコール(⇒P19)"をOFFにしてください。  |

●ディスクチェンジャー(別売)を接続しているとき

| こんなとき                        | どうして   | こうします   |
|------------------------------|--|---|
| ディスクチェンジャーモードにならない           | 本機のチェンジャー入力が接続されていない。  | 本機のチェンジャー入力を接続してください。   |
| 操作スイッチを押しても動作しない             | マイコンが誤動作している。  | リセットボタンを押してください。  |
| ディスクの演奏が始まらない                | 電源がONになっていない。  | 電源をONにした後、▶IIボタンを押してディスクチェンジャーモードにしてください。   |
| 指定したディスクが演奏されず、ほかのディスクの演奏をする | <ul style="list-style-type: none"> <li>ディスクが異常に汚れている。</li> <li>ディスクが裏返しになっている。</li> <li>ディスクが2枚同じ場所に入っている。</li> <li>ディスクの入れ場場所と指定No.が違う。</li> <li>ディスクに大きな傷がある。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>ディスクのクリーニングをしてください。</li> <li>マガジンをイジェクトしてディスクを正しく入れ直してください。</li> <li>マガジンをイジェクトしてディスクを正しく入れ直してください。</li> <li>マガジンをイジェクトして指定ディスクのNo.を確認してください。</li> <li>他のディスクを使用してください。</li> </ul> |
| チェンジャー表示はするが音がでない            | <ul style="list-style-type: none"> <li>音量が最小になっている。</li> <li>アッテネーターがONになっている。</li> <li>マイコンが正常に動作していない。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>音量を適度に上げてください。</li> <li>アッテネーターを解除してください。</li> <li>本機のリセットボタンを押してください。</li> </ul>  |
| 選曲動作をしても目的の曲にならない            | ランダムプレイ/マガジンランダムプレイモードになっている。  | ランダムプレイ/マガジンランダムプレイモードを解除してください。  |

## 故障かな?と思ったら

●以下の表示でディスクチェンジャーの状態をお知らせします。

- EJECT:** ディスクマガジンが入っていない。  
ディスクマガジンが完全に入っていない。  
など
- NO DISC:** ディスクマガジンにディスクが1枚も入っていない。
- E-04:** ディスクが異常に汚れている。  
ディスクが裏返しになっている。  
ディスクにキズが多く付いている。
- BLANK:** 演奏しようとしたMDに何も記録されていなかった。  
⇒ 次のMDを自動的に演奏します。
- NO DATA:** 演奏しようとしたMDにデータが1つも記録されていない。  
⇒ 次のMDを自動的に演奏します。
- E-99:** 何らかの原因で正常に動作していない。  
⇒ 本機のリセットボタンを押してください。"E-99"表示が消えない場合、お近くのケンウッドサービス窓口へご相談ください。
- HOLD:** 温度が60℃以上になると保護回路が働き、動作しなくなることがあります。このときこの表示が出ます。  
⇒ ディスクチェンジャー取り付け場所の温度を下げればしばらくのちに表示は消えます。

## 保証とアフターサービス

### ●保証書

この商品の保証書は別途添付しております。  
必ず所定事項の記入及び記入内容をご確認いただき大切に保存してください。

### ●保証期間

お買上げの日より**1年間**です。  
正常なご使用状態でこの期間内に万一故障が生じた場合には、保証書の記載内容によりお買上げの販売店またはケンウッド各営業所が**無料修理**いたします。

### ●保証期間経過後の修理

お買上げの販売店またはケンウッド各営業所にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合にはお客様のご要望により**有料修理**いたします。  
本機の当社規定**補修用性能部品の最低保有期間**は製造打切後**6年間**です。  
(性能部品と、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

### ●ディスクオートチェンジャーをお買い上げのお客様へ

修理のためお買い上げの販売店、またはケンウッド各営業所に本機をお持ちになるときは、本機およびディスクチェンジャーを一緒にお持ちください。

なおアフターサービスについて、ご不明な点はお買上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、各営業所にご遠慮なくご相談ください。